

# 民主

PRESS MINSHU

民主党府中支部 活動特集号

通常号定価 1部 200円  
年間購読料 3000円(送料込み)  
(第1・第3金曜日発行)

## 号外

民主党プレス民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町 1-11-1  
電話 03-3595-9988

民主党府中支部  
〒183-0023  
東京都府中市宮西町  
2-14-5 萬作ビル 302



# 民主党府中市議団 市政改革に全力投球!

～平成20年第1回定例会 活動報告～

## 「視(み)える市議会」の実現に道筋 ～にしみや幸一



公正かつ市民益優先の府中市政を進めるには、条例・予算・政策などが、どんな議論の経過を経て決まったのか、市民の手で検証できる体制を整えることが大切です。

その第一歩として、民主党府中は、昨年4月の市議選で共通公約(マニフェスト)に掲げた「市議会本会議のインターネット動画配信」を実現させて市民が議会審議を視聴できるチャンスを増やし、「視(み)える市議会」に改革することが必要だ、と考えています。

ただ、この認識を、すべての党・会派が共有しているわけではありません。自民系系の市政会は、今年の9月議会に市民から出された「市議会本会議のインターネット動画配信を求める陳情」について、採択する姿勢を見せません。

これに対して民主党府中では、議会の情報公開を求める市民のみならず、ときには党派を超えて連携し、動画配信の実現に向けた活動を進めてきました。

そして、この3月議会では、市議会の情報公開に対する民主党の主張と市民の願いが実を結び、市政会以外の全会派の賛成により動画配信を求める陳情がようやく採択されました。今後民主党では、動画配信システムの早急な構築に向け、各方面への働きかけを強めてまいります。

さらに、各委員会の議事録を、原則全面非公開から全面公開とさせるなど、一層の「視える市議会」づくりに向け、民主党府中は先頭に立って行動します。

## 後期高齢者医療制度の凍結、改善を求めて～小山くにひと



民主党は国会において野党3党とともに2月28日、「後期高齢者医療制度を廃止する等医療に係る高齢者の負担の増加を回避する等のための健康保険法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律案」(後期高齢者医療制度廃止法案)を衆議院へ提出しました。後期高齢者医療制度は、2006年の164国会で与党の強行採決により成立した医療制度改革関連法に基づき、4月より施行される予定でしたが、政府与党は負担増への国民不安・批判の高まりを受けて凍結・軽減措置を決め、平成19年度補正予算で対応。

民主党は衆院予算委員会の補正予算案審議において、制度の抱える問題点を厳しく追及しました。府中市議会においても「後期高齢者医療制度」四月実施中止を求める意見書についての陳情が提出され、民主党は高齢者医療の問題点や高齢者の負担増に対して、国の措置が不十分であることなどから、陳情に対して採択を主張致しましたが、市政会(自民系)・公明・生活者ネットの不採択により、不採択となりました。

## 道路特定財源、暫定税率にNo!～杉村康之



「道路特定財源の堅持を求める意見書」は自民、公明から提出されました。民主党は当然反対ですので、杉村議員が代表して本会議場で反対意見を述べました。残念ながら自公賛成で可決となりましたが、15対14の僅差でした(議長は採決に加わらず)。

意見書の内容は、新小金井街道や東八道路の延伸など府中でも道路の早期整備が望まれているが、道路特定財源の暫定税率が廃止されると歳入不足となり、道路整備が困難になるばかりか、他の行政サービスも低下するので、関連法案の成立を強く要望する、というもの。

杉村議員はこれに対して、まず、これは国のあり方の問題であるから、府中に損か得かで議論すべきものではないと述べました。その上で、次の3点を理由に反対しました。

- ①暫定税率の期限切れと合わせて別の措置(国直轄事業負担金廃止など)をとられれば府中への影響はない。
- ②膨大な借金を抱える今の日本で、集めた税金が自動的に道路につぎ込まれるしくみを続けていいの。一般財源化して、国会でちゃんと議論をすべきだ。
- ③暫定税率が無くなれば、結果的にガソリンの価格が下がる。苦しい家計の支えにもなり、経済効果もある。

# ごみ処理施策の検討に市民参加を！～稲津けんご



2月26日開催された建設環境委員会において、継続審査となっていた「ごみ収集システムの検討にあたり、十分な市民参加を求める陳情」が採択されました。

当日の委員会では、先般行われた市長選における野口市長のゴミ箱撤去や個別収集に対する方針について「市民の声を1年以上かけて聴き、取り組んでいく」との言葉にあるように、市民参加によるゴミ問題の対応を図っていく事を議会としても後押しする事が重要であるなどの意見がありました。

採決に当たり、これまで陳情に慎重であった市政会や公明党も採択に賛同し、当委員会では全員意義無く満場一致で採択すべきものと決定しました。

続いて行われた3月3日の市議会本議

では、建設環境委員長を務める稲津が報告し、この陳情に関する審議を行い、全会一致で市議会として採択されました。

その後、民主党は予算審議の中で今年の6月から3ヶ月間、市内各文化センターやグリーンプラザ等で市民の声を聞く会議を開催すると答弁を引き出しました。

生活に直結するごみ処理問題について市民の意見を汲み上げる前提に、すべての行政情報を市民に提示するよう強く要望しました。



賛否の分かれた議案・陳情	本会議の結果	会派 ※				
		市政 11人	市フ 8人	公明 5人	共産 3人	生ネ 3人
市議会本会議でのインターネット動画配信を求める陳情	採択	×	○	○	○	○
ごみ収集システムの検討にあたり、十分な市民参加を求める陳情	採択	○	○	○	○	○
道路特定財源の堅持を求める意見書	可決	○	×	○	×	×
「後期高齢者医療制度」四月実施中止を求める意見書についての陳情	不採択	×	○	×	○	×

※ 市政=市政会（自民系会派） 市フ=市民フォーラム（民主・社民・連合） 生ネ=生活者ネットワーク

# 民主党府中、2009年の東京都議会議員選挙 小山くにひこ氏 公認決定！



民主党府中支部は、2007年12月13日の臨時黨員総会において、黨員の総意をもって、2009年の東京都議会議員選挙にむけて小山くにひこ氏を公認予定候補とすることを決定しました。小山くにひこ氏は府中議会議員、現職2期目の32歳。小山くにひこ氏は、「現状の自民、無所属の2議席に対し、民主党の議席を奪還するべく全力を尽くして参ります。また、すべての人が安心して笑顔で暮らせる世の中を市政・都政において実現して参ります」と力強く決意表明しました。

小山くにひこ氏の経歴は、昭和50年（1975年）10月9日生まれ。明治大学政治経済学部卒業。学習塾の教室長、参議院議員浅尾慶一郎秘書、民主党本部青年局クラブデモクラツ事務局長を経て、2003年の府中市議会議員選挙で初当選。現在、市議2期目。

## 菅直人タウンミーティング in 白糸台

3月22日、白糸台文化センターにおいて「菅直人・国政タウンミーティング」が開催されました。

菅直人衆議院議員から通常国会の状況（道路特定財源・暫定税率問題、日本銀行総裁人事等）および今後の国政の動き、民主党の対応・考え等について報告がされました。

市民の皆さまからも多くのご質問やご意見がでて、熱気あふれる会となりました。



▲多くの市民の方々が参加

## 黨員・サポーター募集中！

民主党では活動を支えていただく、「黨員・サポーター」を募集しております。今年は2年に一度の党代表選挙も行われる予定で、黨員・サポーターは選挙に参加することができます。黨員費は年間6,000円、サポーター会費は年間2,000円です。詳細については、民主党東京都第18区総支部（TEL.0422-55-5500）までお問い合わせください。